

窯業科 history

窯業科では、「逞心焼（ていしんやき）」をテーマに、生徒たちが心を込めて作品づくりに取り組んでいました。たたらやより作り、成形など、基礎から学び、規格通りに製品を完成させました。生徒たちは失敗や試行錯誤を通して、粘り強く挑戦する力を身に付けました。

作業室の様子



作業では、伸ばす、切る、積む、たたく、成形などの工程があります



～逞心焼～

「逞心焼」とは本校の教育目標から、生徒たちが心はもちろんのこと体も逞しく育ってほしい、また『ていしん』という言葉には「自分から進んで事にあたること」、「多数の中から先に出て進むこと」という意味もあり、生徒たちが自分の個性を大事に発揮し、決して大勢の中におぼれる事なく自分から進んで種々なことにあたってほしいと願って名づけました。

令和7年度 窯業科

～休科前、最後の三年生～



3年生は卒業式の大壺を制作していました

